



■被災地出張授業……2015年 11月4日

人間としてどう生きるか



講師：種村 均 中部経済同友会 代表幹事（ノリタケカンパニーリミテド 取締役会長）

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトによる被災地出張授業を、潜水技術が学べることで有名な岩手県立種市高等学校で行った。今回は、種村均中部経済同友会代表幹事が講師を務め、全校生徒254人に対して、「人間としてどう生きるか」について語った。

人間は命をつなぐために生まれてきた

人間はなぜ生まれてくるのでしょうか。それは命をつなぐためです。すべての生物は子孫を生き育て、存続を目指す法則に従っています。また、生物は永遠には生きられず、死ぬことを運命づけられています。それは人間も同じです。限られた寿命の中で、先祖から子孫へと命をつなぐために、努力しなければなりません。

長い間、人間は家族を単位とする社会を形成し、学校や職場の仲間など、地域社会とのかかわりの中で生きてきました。子どもは、親や、社会の大人の世話になって成人し、成人すれば社会に役に立つ仕事をして、生活の糧・収入を得なければなりません。

社会人として何が必要になるのか

社会人に必要な第一の要件は、礼儀作法を身に付けることです。「おはよう」「ありがとう」「おつかれさま」といった挨拶がその基本です。挨拶は相手に対して「よろしくお付き合いください」という、敵意のないことの意味表示であり、相手に安心感を与えます。また、社会にはいろいろな慣習や慣例があるので、それらも尊重しなければなりません。礼儀作法を

欠くことは、周りの人に背を向けることであり、嫌われる原因になります。礼儀作法は、自分を守るためのものと考えてください。

第二の要件は、他人を理解し尊重することです。人間は、誰一人として同じ気持ちや考えを持っていません。そこで大切なことは、自分とは異なる考えや気持ちを理解し、尊重して許し合うことです。相手の気持ちや考えを理解するには、相手を知る努力が求められます。

第三の要件は、「善悪・正誤・適否」の三つの判断を誤らないことです。善悪の判断は、人間としての倫理・道徳に関するもので、例えば他人に暴力を振るったり、だましたり、傷つけたりすることは悪です。それに対して、他人の信頼に応える、約束を守るといったことが善です。

正誤の判断は、決められた規則や約束事に従うかどうかです。例えば、風邪をひいて学校を休む場合には、学校に連絡して休めば正ですが、連絡せずに休めば誤となります。社会には法律、学校には校則、会社には社則というように、多くのルールがあります。それをよく知り、違反しないようにする必要があります。

適否の判断は、何が最も適しているかという選択の問題です。例えば、東京へ行くためには飛行機か、船か、新幹線か、在来線か、それとも自動車か、どれ

が最適かを選択します。仕事ではこの適否の判断の優劣が強く問われます。

働くことで人間として成長できる

皆さんは、間もなく成人して働くことになります。働くことは社会のためになるだけでなく、自分にとっても貴重なことです。仕事に真剣に向き合うことで自己の能力を高め、人間として成長することができます。問題や課題を解決できたとき、自分の責任を果たせたときには、喜び、経験、ノウハウ、自信などを得ることができます。

仕事を選択するときには、自分の得手不得手、長所短所を見つめ直してください。周りの人が自分をどのように評価しているか、客観的な意見も参考になるでしょう。

自分の持ち味や得意なこと、長所を活



用した方が仕事はうまくいくし、楽しくなります。

最後に皆さんにお願いしたいのは、他人の話をうのみにしてはいけないという

ことです。皆さんは社会に出ていろいろな人に出会い、いろいろな話を聞くでしょう。その人の話が正しいのかどうか、自分のために思って言ってくれているのか

どうか、自分で考え直してみるということが大事です。

皆さんが、真っすぐな立派な社会人として成長することを、心から願っています。

質疑応答

Q 会社全体をまとめるために、どのような工夫をしていますか。

A 会社にはさまざまな個性を持つ社員がいますが、会社全体として一つの目的に向かって、事業を進めなければなりません。そのためには経営者が、みんなをまとめていく必要があります。そこで私は、経営計画や経営方針といった形で会社の方向性を社員にきちんと提示するようにしてきました。それに向かって、それぞれの社員が個性を発揮しながらまい進することで、会社全体として大きな力を発揮できるようになります。それがリーダーの役割です。

Q 人間性を磨くためには、どのような気持ちが必要ですか。

A 「周囲の人たちが何かをしてくれる」と思ったら、大きな間違いで

す。大切なのは自分の気持ちです。「立派な社会人になろう」という気持ちがあれば、周囲の人々の言葉を聞く耳が持てます。例えば今日私がお話したことも、そうした強い気持ちを持って聞くのとそうでないのでは、受け止め方がまったく違ってくると思います。「立派な社会人になろう」という強い気持ちを持って、それをサポートしてくれる人もたくさん出てきます。ぜひ、そうした気持ちを持ってください。

Q 私たちは高校生として、日ごろどのような行動・準備をすればいいのでしょうか。

A 大学進学を目指す人は、そのための勉強をする。就職を予定して

いる人は、どのような気持ちで仕事に向き合うべきかを考える。そういう準備をしてください。近い将来のために、今できることを今やる。それが何よりも大切だと思います。



生徒の感想



●IPPO IPPO NIPPONプロジェクトでは、潜水器材やミニショベル等、実習に使うものを支援していただき、大変感謝しています。これからも、少しでも多くの技術を身に付け、社会に出たらトップの人材になれるように頑張りたいです。

●どんな仕事でも面白くできるという話のためになりました。仕事に真剣に取り組んでいると、いろいろなことが分かり、仕事ができるようになると、さらに面白くなるという話がありました。自分もできないことを繰り返し練習することで、できるようになり自信を持ってた経験があるので、確かにそうだと思います。

●私は「人間は何のために生まれてきたのだろう」と考えたことがあります。講演では「祖先から子孫へ命をつなぐこ

と」とのことでした。これを聞いたとき、不思議と、しっかりと自分を持って、意見を言えるようになろう、という気持ちになりました。また、生まれてきて意味のない人はいないと思いました。

●今回の講演を聴いて、自分を育てることができるのは、自分だけだということに気付くことができました。講演では「苦手だからといって諦めてしまうのはよくない。何事も挑戦することが大切だ」とおっしゃっていました。これからは、失敗を恐れず、挑戦してみようと思います。

●僕の心に響いた言葉は「自分の心次第で、成功するか、しないかが決まる」です。僕は、実習でも、すぐに満足せず、「もっとうまく、もっとうまく」と思っています。「先生に勝つ」を目標に、スピード、精度、二つとも完璧にこなせるように頑張っています。社会に出て好きな仕事に就いたとしても、それで満足してしまったら、そこで成長は止まってしまうと思います。今日の言葉を教訓に、良い社会人になれるよう、普段の授業から頑張ります。